

北九州市の**平和**への取組

平和のまちミュージアムの実践から

1. 北九州市という街
2. 北九州市平和のまちミュージアム
3. 北九州市平和のまちミュージアムを「拠点」として

北九州市平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

1. 北九州という街

■近代都市北九州

1963(昭和38)年に旧5市が合併し「**北九州市**」に

- 門司市 → 大陸への玄関口
- 小倉市 → 軍都
- 若松市 → 筑豊の石炭積出港
- 八幡市 → 製鉄に関わる工業の町
- 戸畑市 → //



■戦争と原爆と北九州

- 1944(昭和19)年6月16日 **B29による日本本土初空襲**
中国・成都から飛来したB29が八幡を中心とする北九州一円に爆撃
- 1945(昭和20)年8月8日八幡の街が無差別爆撃を受け(**八幡大空襲**)、約2,500名の死傷者
- 1945(昭和20)年**8月9日**には、小倉を目指して、原爆を搭載したB29が飛来、視界不良のため第2投下目標の長崎に向かう。



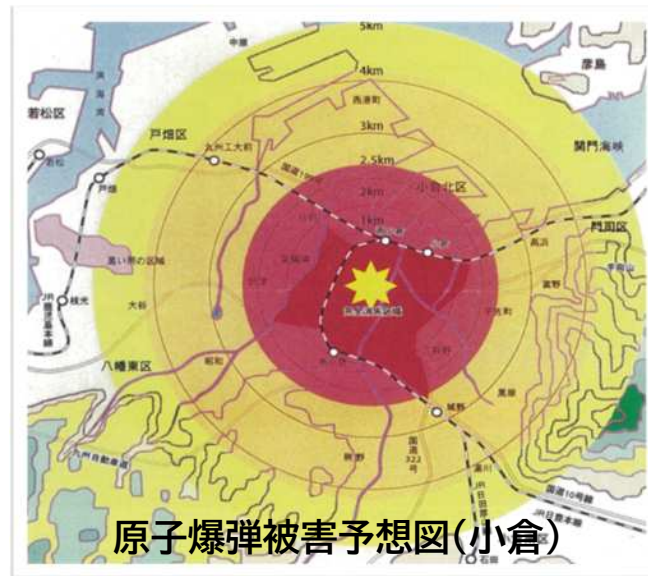
焼け野原になった八幡市街地

●北九州と「原爆」

「原爆がここに落とされていたら自分は、いない・・・」という言説



北九州では、原爆は、「ありえた現実」として、我がこととして受け止められ続けている。



■非核平和都市宣言と平和事業

●2010(平成22)年2月10日 **北九州市非核平和都市宣言**

平和な世界の実現は、人類共通の願いです。

私たちの国、日本は、世界で唯一の核兵器の被爆国として、この地球上で再び広島や長崎の惨禍を繰り返してはならないことを、世界人々に強く訴え続けてきました。

私たち北九州市民は、長崎に投下された核兵器の第一目標が小倉であったことを重く受け止め、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に伝え、核兵器のない、戦争のない、平和な世界を築いていかなければなりません。

よって、私たちは、命と平和の大切さを深く認識し、核兵器の廃絶と平和な世界の実現のために歩み続けることを誓い、ここに北九州市を非核平和都市とすることを宣言します。

平成22年2月10日 **北九州市**

2. 平和のまちミュージアム

■戦争と平和を「考える契機」 / 史資料収集と調査研究

●2022(令和4)年4月19日

北九州市平和のまちミュージアム開館



- ・コンセプト:『戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて考えるきっかけをつくる』
- ・史資料収集と調査研究
市民から寄贈される史資料、ミュージアムによる史資料収集と専門の学芸員2名による調査研究そして展示

■地域の暮らしの歴史のなかで戦争の時代をとらえる

- 延べ床面積 約 900㎡、地上1階建(鉄骨造)、展示室 約340㎡



北九州市 Kitakyushu City Museum of Peace

平和のまちミュージアム

●地域の歴史のなかの 等身大の戦争



- ・1930年代北九州地域「モダン都市」化から5市合併・北九州市の成立まで
- ・戦争に前向きにならざるを得なかった庶民の姿 + 無差別爆撃の被害



・360度シアター

1945(昭和20)年8月8日の八幡大空襲、翌9日原爆を搭載した爆撃機が小倉上空に飛来した後、長崎に向かった2日間の出来事を、証言にもとづきアニメーションで再現



360度シアター



- ・2022(令和4)年 第7回 日本展示学会賞 受賞
テーマ設定や構成、映像音響機器の使用が優れており、
「単に戦争の被害を記憶する施設にとどまらない
奥行き」ある展示



私たち北九州市は、この平和のまちミュージアムの展示を1つの資源にし、次世代への多様な‘平和事業’を展開していく「拠点」として成長させようと努力をしています。

北九州市 Kitakyushu City Museum of Peace

平和のまちミュージアム

3. 平和のまちミュージアム を「拠点」として

■子どもたちに！ 市内小学生の『**平和のまちスタディツアー**』

●2022(令和4)年度 市内120の小学校、7,300名が来館



小学校6年生の見学風景



焼夷弾の模型を熱心に見る小学生

■長崎へ！『青少年ピースフォーラム派遣事業』

- 2014(平成26)年から実施してきた事業を平和のまちミュージアムを「拠点」にバージョンアップ



■長崎へ！『長崎-小倉 次世代交流平和推進事業』

- 北九州市の大学生以上の若者を長崎に派遣し、現地の「青少年ピースボランティア」の皆さんと活動し、次世代を担う若者同士の交流を図る



■市民への記憶の継承！『**嘉代子桜・親子桜 植樹事業**』

- 平和への願いが込められた「嘉代子桜」に由来する桜を「嘉代子桜・親子桜」と名付け広く市内に植樹している



「嘉代子桜・親子桜」の植樹

■市民への記憶の継承『嘉代子桜・親子桜 紙芝居と絵本』

- 北九州市立 湯川小学校の読み聞かせグループ「ひだまり」が制作した紙芝居と絵本『忘れない嘉代子桜・親子桜』



『忘れない嘉代子桜・親子桜』（左 絵本、右 紙芝居）

■ユース世代への橋渡し

『(仮称)北九州市ピースフィールドクラブ』

- 北九州市の文化や歴史、戦争の惨禍や平和の大切さ、命の尊さなどについて学び、様々な視点から「平和」について考え、多くの人と繋がり、行動・発信できる人材を育成する



ご清聴ありがとうございました

北九州市 Kitakyushu City Museum of Peace

平和のまちミュージアム